

# 市民アンケートにもとづき市長へ申し入れ



1月27日、日本共産党羽村市議団は、昨年おこなった共産党市民アンケートにもとづき、並木市長に市政改善についての申し入れをおこないました。詳細をお知らせします。



1/27並木市長へ申し入れをおこなう日本共産党羽村市議団

羽村市長 並木心 様

日本共産党羽村市議団「市民アンケート」にもとづく申し入れ書

2012年1月27日 日本共産党羽村市議団

日々の市政運営たいへんご苦労様です。

私たち日本共産党羽村市議団が、昨年10月末から年末にかけて市民から集めた「市民アンケート」には156通の回答が寄せられました。

回答の特徴は、

暮らしの実態が「悪くなった」と答えた人が全体の53.2%にのぼり、1年前のアンケート(2010年11月～

2011年1月)と比べて6.5ポイントの増加となっている。

市政に求める仕事の内訳として「税・社会保険料などの負担軽減」を選択した人は全体の46.8%で最多。続いて、「医療・介護の充実」42.3%、「高齢者対策」32.7%と続いている。

羽村駅西口区画整理事業に対する意見では、「中止・見直しすべき」という声は全体の57.1%にのぼり、昨年のアンケートへの回答(58.7%)とほぼ同じで、引き続き見直しを求める声が大きいです、ということなどです。

また、改善してほしい具体的な要望も多岐にわたって寄せられています。

以上の結果を受けて、次の点について、特に市の対応を強く求めるものです。

- 1、市民に負担増を強いる施策はおこなわないこと。特に、国民健康保険税、介護保険料の引き上げはおこなわないこと。
- 2、暮らしを守る施策の削減はおこなわず、充実をはかること。
- 3、羽村駅西口区画整理事業の見直しをおこなうこと。

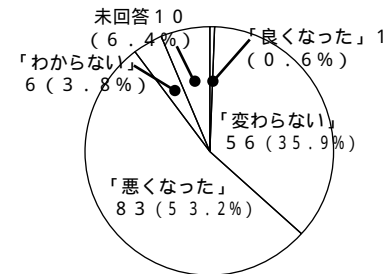
また、以下に、担当する部署ごとに寄せられた要望を列挙しました。実現にむけての努力を求めるものです。

<寄せられた要望(一部)> 全63項目のうち一部を記載

・自転車免許制度の拡充(小学3年生だけでなく、4,5,6年生での更新講習、大人向け免許制度を始める)を求む。

## 市民アンケートの結果

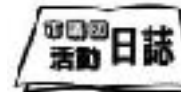
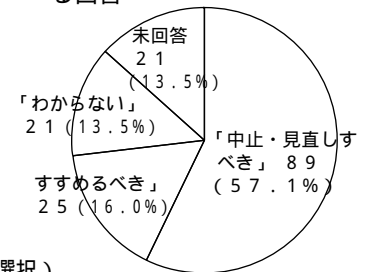
「あなたの最近の生活はいかがですか?」に対する回答



「羽村市に特に取り組んでほしいことはなんですか?」(複数選択)に対する回答(上位7つ)

税・社会保険料の負担軽減	73 (46.8%)
医療・介護の充実	66 (42.3%)
高齢者対策	51 (32.7%)
雇用対策	36 (23.1%)
子育て支援	34 (21.8%)
放射線対策	34 (21.8%)
学校教育	33 (21.2%)

「市は財政がきびしいといいながら、事業費355億円の羽村駅西口区画整理事業をすすめています。どうお考えですか?」に対する回答



1月20日 ウィングアイでの若者就職面接会を見に行く。60名近い若者が真剣な表情で面接に臨んでいた。市内等での就職を望む若者にとって大変有意義な企画だ。こうした支援策をもっと充実させたい。(倉田)

1月28日 共産党支部のみなさんと「消費税の増税」に反対する宣伝行動にとりくむ。雪が残り、とても寒い中だったが、くらしや内需を直撃する消費税の問題点を熱く語る。通行人が真剣に聞いてくれる様子が印象に残った。(鈴木)

- ・羽村堰付近に駐車場を整備し、自然に親しめる環境整備を進めるべき。
- ・五ノ神1 - 5 5 付近の交差点は、死亡事故を含む事故が続いている。信号機設置が必要。



- ・日野自動車第2北門近くの産業道路交差点（産業道路と栄小通りの交差点）は、出勤・退勤時間帯に、自転車同士、自転車と歩行者の接触事故の危険性が高い。ミラー設置などの対策を求む。



- ・食品、給食、土壌の放射線量調査をおこなうべき。
- ・発達障害の子どもの居場所を作ってもらいたい。（一時、ショートステイ等）
- ・低所得者に対し、資格取得や英会話、コンピュータの技能取得のための助成をしてほしい。
- ・立川断層、原発について、識者による説明会・学習会を実施してほしい。

- ・体育施設の利用時間帯の区割りについて、夜間の4時間制を2時間制にし、利用を増すべき。
- ・横田基地の騒音がひどくなっている。経年変化を明らかにし、飛行減少の申し入れをしてもらいたい。
- ・産業道路・神明台2 - 4 - 1 5 付近で、早朝・深夜にトラックがアイドリングを続けている。対策を望む。
- ・奥多摩街道・羽東3 - 1 8 付近（大げやき付近）の歩道が狭く、歩行者、自転車が危険。対策を求む。
- ・羽村駅東口・障害者用トイレが汚れていることが多い。清掃を徹底してほしい。
- ・放射能ホットスポットの調査と除染をさらに強めるべき。
- ・西多摩衛生組合の焼却灰、排ガスの放射性量調査の結果を「広報はむら」に載せるべき。
- ・地震による液状化現象の可能性のある場所は調査と対策を実施してほしい。
- ・羽村の堰から玉川上水にかけて観光スポットをつくる。貸自転車を設置してはどうか。
- ・太陽光・熱発電に力をいれた街づくりを求む。
- ・ペットボトル、白色発泡トレイ、牛乳パックの回収ボックスの蓋（プラスチック製）が壊れているところが多い。手をはさみやすく危険。点検と、丈夫な素材への変更を求む。
- ・放課後子ども教室を全小学校でいち早く実施してほしい。
- ・学童クラブ指導員の賃金を引き上げるなどし、保育の質的向上を求める。
- ・生活保護世帯の水道料金補助制度の復活を求む。
- ・人間ドックへの助成制度をつくってほしい。
- ・特養ホームの増設で、必要な人が入所できるようにしてほしい。
- ・高齢者にごみ袋を無料で配布する制度を実施すべき。
- ・特別支援教室の増設、通級指導学級の増設、教員の特別支援スキルの講習充実、特別支援教育指導員の充実を求む。

- ・図書館の学習室エリアを増すか、ゆとろぎの一室を常時学習室として使用できるようにしてほしい。
- ・図書館返却所を羽村駅に設置してほしい。
- ・小中一貫、二期制は実態にそぐわない。基本に立ち返るべき。教員の定数を増やしてほしい。
- ・学校に司書の全日配置を。
- ・低所得者層の子どもに学習支援するシステムがほしい。
- ・市民プールをもっと安価に利用できるような望む。回数券の販売で割引を設けるなどはどうか。
- ・市内の児童には、無料ですべての文化事業を鑑賞できる制度を設けたらどうか。
- ・ボランティア養成、知識向上、教育講習等の充実を求む。
- ・有料ごみ袋を売る店舗、連絡所などを増やしてほしい。
- ・若い人の行政への参加をもっと増やすため、意識的な努力を求む。
- ・はむらんの停留所ごとにベンチの設置をしてほしい。利用者でなくても休める場所が必要。
- ・震災で風評被害に苦しむ生産者を応援するイベントをおこなうべき。
- ・屋外消火器を増やし、火災の際に迅速に対応できるようにすべき。
- ・税、社会保険料等が高い。無理なく支払える金額にしてほしい。
- ・市役所の水飲み場は復活すべき。

次回の無料法律相談は2月13日  
 (月)午後1時半からです。電話でお申し込みください。  
 ・鈴木たくや 080-1058-9450  
 ・倉田まなぶ 080-3460-0064 まで。

紙面へのご意見、ご要望などぜひお寄せください。  
 (080-1058-9450鈴木まで)